

特50

特50-244



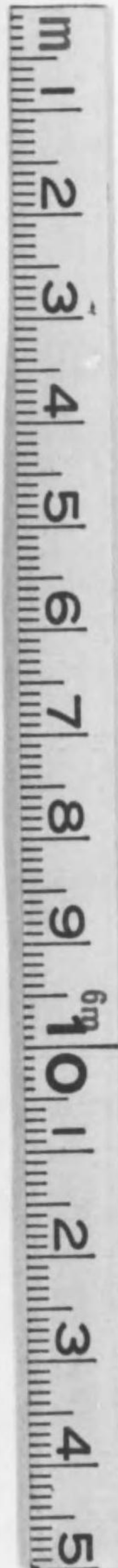
1200800229897

244

第三臨時教員養成所一覽

明44~明45

国立国会図書館



始



第三臨時教員養成所一覽

自明治四十四年
至明治四十五年



特50
244

第三臨時教員養成所一覽目次

第一章	沿革略
第二章	學 曆
第三章	法 令
第四章	事務規程
第五章	規 則
第六章	職 員
第七章	生 徒
第八章	卒業生

一	一
一	〇
一	丁
二	丁
二	一
二	丁
二	四
二	丁
三	五
三	丁
三	七
三	丁
四	〇
四	丁

明治
44.11.11
内交

第三臨時教員養成所一覽

第一章 沿革略

本所ハ明治三十五年三月勅令第百號ヲ以テ臨時教員養成所官制ヲ發
布セラレ同年四月一日ヨリ實施スル事ニ定メラレタルニ因リ同月文
部省告示第五十八號ヲ以テ第二高等學校内ニ設置シ其學科ヲ數學科
ト定メラル○三月勅令第百一號ヲ以テ臨時教員養成所教授ノ官等俸
給令發布セララル○三月二十九日文部省令第八號ヲ以テ臨時教員養成
所規程ヲ定メラル○四月一日管理者職務規程ハ當該直轄學校長ノ職
務規程ヲ準用スル旨達セララル○勅令第百號第三條ニ基キ中川第二高
等學校長管理ス○四月十七日休職第二高等學校教授波木井九十郎本
所教授ニ任セララル○四月十七日ヨリ同月十九日ニ至ル三日間ニ於テ

第一回入學試験ヲ施行シ應募者七十二名中三十三名ニ入學ヲ許可セ
リ○四月二十二日教授波木井九十郎主事ヲ命セラル○四月二十二日
本所生徒ハ徵兵令第十三條第一項割註ノ別科ニ該當スルモノニアラ
サル旨通知セラル○四月二十六日開所式ヲ舉行ス○五月一日日本所職
員生徒ハ第二高等學校所藏ノ圖書ヲ閱覽シ得ルコトナル○五月五
日本所規則ヲ制定ス○五月二十日本所事務規程ヲ制定ス○十月九日
農商務省ヨリ度量衡器百六十六點讓與セラル○明治三十六年四月二
十四日規則改正○十月二十日ヨリ十四日間視學ノ爲メ教授波木井九
十郎書記高橋孝哉附添生徒一般東京千葉埼玉栃木福嶋茨城ノ一府五
縣下へ出張ス○十二月四日勅令第二百三十二號ヲ以テ臨時教員養成
所官制第四條書記定員五人ヲ四人ニ改メラル○十二月二十五日卒業
證書々式改正○十二月二十六日文部省令第三十九號ヲ以テ學生生徒

ニ交付スル在學證明書ニ關スル規程ヲ定メラル○明治三十七年三月
二十九日第一回卒業生二十八名ニ卒業證書ヲ授與ス○三月二十九日
在學中無缺席者九名ニ勤勉賞狀ヲ授與ス○三月二十九日卒業生一般
ニ師範學校中學校高等女學校數学科教員免許狀ヲ授與セラル○三月
七日ヨリ五日間ニ於テ第二回入學試験施行シ應募者百二十名中三十
二名ニ入學ヲ許可セリ○四月十九日入學式ヲ舉行セリ○六月十日澤
柳普通學務局長本所ニ臨マル○七月十一日東京帝國大學ニ 御臨幸
ノ節文部大臣ヲ召サセラレ教育ノ事ニ關シ深厚ナル御沙汰ヲ賜リタ
ルニ付特ニ訓令ヲ發セラル○九月十日文部省令第十八號ヲ以テ學生
生徒ノ身體検査規程改正セラル○十月十日時局ニ關シ内閣總理大臣
へ勅語ヲ賜リタルニ付特ニ文部大臣ヨリ令達セラル○明治三十八年
五月廿六日久保田文部大臣本所ニ臨マル○十月十二日ヨリ同二十五

日マテ教授波木井九十郎ハ書記高橋孝哉ヲ隨ヘ生徒全部ヲ引率シ學術實地指導ノ爲メ岩手、青森、秋田、山形、福島ノ五縣下并ニ北海道函館ヘ出張ス○明治三十九年三月二十四日第二回卒業生二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス○三月二十四日第二回卒業生在學中無缺席者十四名ニ勤勉賞狀ヲ授與ス○三月二十四日卒業證書授與式舉行ニ際シ侯爵西園寺文部大臣ヨリ祝辭ヲ送附セラル○三月二十四日卒業生二十九名中二十三名ニハ師範學校中學校高等女學校數學科教員免許狀ヲ其他ノ六名ニハ算術、代數、幾何、三角法ノ免許狀ヲ授與セラル○三月三十日勅令第四十二號ヲ以テ臨時教員養成所官制第四條教授定員九人ヲ六人ニ書記定員四人ヲ三人ニ改メラル○三月三十日文部省告示第六十八號ヲ以テ第一臨時教員養成所國語漢文科、第四臨時教員養成所及第五臨時教員養成所ハ明治三十九年三月三十一日限廢止セラル○四月二

日文部省令第三號ヲ以テ臨時教員養成所規定中第九條第十一條ヲ改正セラレ第十九條第二十條第二十一條ノ三條追加セラル○四月九日ヨリ三日間ニ於テ第三回入學試驗施行シ應募者百十七名中三十名ニ入學ヲ許可セリ○四月二十八日入學式ヲ舉行セリ○六月九日文部省訓令第一號ヲ以テ牧野文部大臣ヨリ學生生徒ノ風紀振肅ニ關スル訓令ヲ發セラル○明治四十年九月十六日牧野文部大臣本所ニ臨マル○十月三日ヨリ同十六日マテ教授波木井九十郎ハ書記高橋孝哉ヲ隨ヘ生徒全部ヲ引率シ學術實地指導ノ爲メ東京、新潟、群馬、長野ノ一府三縣下ニ出張ス○明治四十一年三月十一日本所修業年限延長學科目削除並ニ學則改正ノ件認可セラル○三月二十四日第三回卒業生二十三名ニ卒業證書ヲ授與ス○三月二十四日第三回卒業生在學中無缺席者十二名ニ勤勉賞狀ヲ授與ス○三月二十四日第三回卒業證書授與式舉行ニ際

シ牧野文部大臣ヨリ祝辭ヲ送附セララル○三月二十四日卒業生二十三名中二十一名ニハ師範學校中學校高等女學校數學科教員免許狀ヲ其他ノ二名ニハ算術代數幾何三角法ノ免許狀ヲ授與セララル○三月二十五日ヨリ三日間ニ於テ第四回入學試驗施行シ應募者九十七名中三十名ニ入學ヲ許可セリ○三月二十六日文部省令第十三號ヲ以テ學生生徒身體檢查規定中第七條ノ統計表樣式中年齡ノ欄改正セララル○四月十五日入學式ヲ舉行セリ○十月八日 皇太子殿下第二高等學校ニ御臺臨本所便覽ヲ捧呈ス本所教授ニ拜謁仰付ラル○十月十一日ヨリ同十三日マテ三日間生徒修學旅行ニ付教授波木井九十郎書記高橋孝哉ヲ隨ヘ生徒全部ヲ引率シ宮城縣下牡鹿郡ヘ出張ス○十月二十五日教授波木井九十郎學事視察トシテ宮城縣下栗原登米ノ二郡ヘ出張ス○十月二十六日 皇太子殿下御眞影拜戴式並ニ戊申 詔書捧讀式ヲ第

二高等學校ニ於テ同校生徒ト同時ニ舉行ス○十一月九日講師三好愛吉學事取調ノ爲福島縣下ヘ出張ス○十一月二十八日教授波木井九十郎學事視察トシテ福嶋縣下並ニ宮城縣刈田郡ヘ出張ス○十二月二十八日文部省令第三十三號ヲ以テ臨時教員養成所規程中第一條第二條第七條第八條第九條改正セララル○明治四十二年一月十六日管理者第二高等學校長中川元宮城縣管内ヘ隨時出張許可セララル○二月十七日管理者第二高等學校長中川元中學校實業學校參觀ノ爲宮城縣遠田郡外四郡ヘ出張ス○二月二十五日文部省告示第四十號ヲ以テ第六臨時教員養成所英語科ハ明治四十二年三月三十一日限り之ヲ廢止シ更ニ家事科ヲ置キ同年四月ヨリ開始ス○三月一日管理者第二高等學校長中川元書記高橋孝哉ヲ隨ヘ中學校實業學校視察ノ爲メ刈田郡外二郡ヘ出張ス○四月五日本所學科課程中第二學年ヘ物理實驗増加ノ件許

可セラルル○四月二十八日教授波木井九十郎文部省視學委員ヲ命セラ
ル○五月二十六日教授波木井九十郎文部省視學委員トシテ静岡、愛知
三重三縣へ出張ス○十月九日小松原文部大臣本所ニ臨マル○十一月八
日ヨリ同十七日マテ十日間教授波木井九十郎書記高橋孝哉ヲ隨へ生
徒全部ヲ引率シ學術實地指導ノ爲東京、福嶋、茨城ノ一府二縣下へ出張
ス○十一月十六日教授波木井九十郎外生徒一同 振天府拜觀○明治
四十三年二月十六日教授波木井九十郎文部省視學委員トシテ熊本、鹿
兒嶋二縣へ出張ヲ命セラルル○五月十二日教授波木井九十郎文部省視
學委員ヲ命セラルル○六月十五日教授波木井九十郎文部省視學委員ト
シテ福井、石川、富山三縣へ出張ス○十月一日ヨリ同十四日マテ教授波
木井九十郎ハ書記高橋孝哉ヲ隨へ生徒全部ヲ引率シ學術實地指導ノ
爲メ北海道へ出張ス○十月二十八日文部省令第二十五號ヲ以テ明治

三十五年文部省令第八號臨時教員養成所規程中第三條第四條第五條
第六條及第七條中「倫理」ヲ「修身」ニ改メ明治四十四年四月一日ヨリ施行
ノコトニ改正セラルル○明治四十四年一月二十五日管理者第二高等學
校長中川元仙臺高等工業學校校長ニ任セラルル○一月二十五日第二高等
學校教授三好愛吉第二高等學校校長ニ任セラレ臨時教員養成所官制第
三條ニ依リ管理者トナル○二月十六日第二高等學校校長三好愛吉本所
教授兼任○三月二十四日日本所第四回卒業生二十六名ニ卒業證書ヲ授
與ス○三月二十四日第四回卒業生在學中無缺席者九名ニ勤勉賞狀ヲ
授與ス○三月二十四日第四回卒業證書授與式舉行ニ際シ小松原文部
大臣ヨリ祝辭ヲ送附セラルル○三月二十四日第四回卒業生二十六名中
二十四名ニハ師範學校中學校高等女學校數學科教員免許狀ヲ其他ノ
二名ニハ算術代數幾何三角法解析幾何ノ教員免許狀ヲ授與セラルル○

三月二十七日ヨリ三日間ニ於テ第五回入學試験ヲ施行シ應募者八十五名中三十名ニ入學ヲ許可セリ○四月十五日入學式ヲ舉行セリ○四月二十五日教授波木井九十郎文部省視學委員ヲ命セラル○四月二十五日本所學科課程中體操科ヲ加フルノ件許可セラル○五月二十九日教授波木井九十郎文部省視學委員トシテ兵庫、岡山、和歌山三縣へ出張ヲ命セラル○十月九日ヨリ十一日マテ教授波木井九十郎書記高橋孝哉ヲ隨へ生徒全部ヲ引率シ岩手縣へ出張ス

第二章 學 曆

四月一日 春季休業始ル
 四月七日 春季休業終ル
 四月八日 第一學期課業始ル
 七月十日 第一學期課業終ル

七月十一日 夏季休業始ル
 九月十日 夏期休業終ル
 九月十一日 第二學期課業始ル
 秋分日 休業(秋季皇靈祭)
 十月十七日 休業(神嘗祭)
 十月二十六日 休業(第二高等學校開校紀念日)
 十一月三日 休業(天長節)
 十一月二十三日 休業(新嘗祭)
 十二月二十四日 第二學期課業終ル
 十二月二十五日 冬季休業始ル
 一月七日 冬季休業終ル
 一月八日 第三學期課業始ル

一月三十日

休業(孝明天皇祭)

二月十一日

休業(紀元節)

春分日

休業(春季皇靈祭)

三月三十一日

第三學期課業終ル

第三章 法令

勅令第百號

(明治三十五年三月二十七日)(三十九年三月勅令第四十二號ヲ以テ改正)

臨時教員養成所官制

第一條 臨時教員養成所ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學及直轄諸學校内ニ之ヲ置ク

第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長及直轄諸學校長ヲシテ

之ヲ管理セシム

第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トシ生徒ノ教授ヲ掌ル

書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第百一號

(明治三十五年三月二十七日)

臨時教員養成所教授ノ官等俸給ニ關シテハ文部省直轄諸學校高等官官等俸給令中教授ノ例ニ依ル

附 則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

文部省令第八號

(明治三十五年三月二十九日明治三十九年四月省令第三號ヲ以テ改
正明治四十一年十二月二十八日文部省令第三十三號ヲ以テ改正)

臨時教員養成所規程

第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化
學科、家事科ノ一學科若クハ數學科ヲ置ク

第二條 前條各學科ノ修業年限ハ二箇年乃至三箇年トス

第三條 國語漢文ノ學科目ハ修身教育、國語、漢文、英語、歴史トス

第四條 英語科ノ學科目ハ修身教育、英語、國語及漢文トス

第五條 數學科ノ學科目ハ修身教育、數學、英語、物理、簿記トス

第六條 博物科ノ學科目ハ修身教育、動物、生理、植物、礦物、英語、地文、地質
人類、天文トス

第七條ノ一 物理化學科ノ學科目ハ修身教育、物理、化學、英語、數學トス
第七條ノ二 家事科ノ學科目ハ修身教育、家事、裁縫、國語、物理及化學、體
操トシ隨意科目トシテ手藝及圖書ヲ加フ

第八條 各學科ノ修業年限及各學科目ノ每週教授時數ハ管理者之ヲ
定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科
目ヲ加除スルコトヲ得

第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ハ分テ
三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學
期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一
日ヨリ三月三十一日マテトス

休業ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四個年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ但中學校及師範學校ノ卒業者ニ限リ時宜ニヨリ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但管理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ己ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徴收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徴收スルコトヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十條 前條ニ依リ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ卒業ノ日ヨリ學費ノ補給ヲ受ケタル年限ト同一期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ教職ニ從事スヘキ義務アルモノトス

但シ特別ノ事情アル者ハ其免除又ハ猶豫ヲ文部大臣ニ出願スルコ

トヲ得

第廿一條 左ノ各號ニ該當スル者ハ在學中補給シタル學資ヲ償還セシム

但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

二、第十五條但書ニ依リ退學シタル者

三、前條ノ義務ヲ盡サ、ル者

四、服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

文部省告示第五十八號

明治三十五年三月二十九日同三十九年三月告示第六十八號並四月告示第八十三號同四十一年三月告示第四百十四號同四十二年二月告示第四百十號參照

名稱學科

第三臨時教員養成所 數學科 (第二高等學校内ニ置クモノ)

第六臨時教員養成所 家事科 (東京女子高等師範學校内ニ置クモノ)

文部省告示第七十七號 (明治四十一年三月十一日)

第三臨時教員養成所 修業年限ヲ三箇年ニ延長ノ件認可セリ

寅人甲二五三號 (明治三十五年四月二日)

管理者職務規程

臨時教員養成所管理者職務規程ハ當該直轄學校長ノ職務規程ヲ準用ス

在學證明書ニ關スル規程

文部省令第三十九號 (明治三十六年十二月二十六日)

徵兵事務條例第五十五條ニ依リ學校長ノ交付スル

在學證明書ニ關スル規程

第一條 徵兵事務條例第五十五條ニ依リ學生生徒ニ在學證明書ヲ交

付スルトキハ左ノ書式ニ據ルヘシ

在學證明書

番號

原籍

在學ノ學科及學年
入學ノ年月日

氏

名

生年月日

徴兵事務條例第五十五條ニ依リ在學ヲ證明ス

學校所在地

年月日

何々學校長 氏

名 印

第二條 學校長ハ在學證明書交付名簿ヲ調製シ前條ノ證明書ヲ交付スルトキハ證明書ノ番號ヲ該名簿ニ記入シ且證明書ト名簿トニ割印ヲナスヘシ

第三條 卒業若クハ退學等ニ依リ第一條ノ證明書ヲ交付シタル學生

生徒ノ學籍ヲ除キタルトキハ學校長ハ其除籍ノ事由及年月日ヲ十

四日以内ニ原籍地ノ市長 北海道、沖繩縣、京都市及町村長 町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者

ニ通知スヘシ

第四章 事務規程

第一條 本所ノ事務ハ本規程ニ依リ處理ス

第二條 本所ニ主事庶務係教務係會計係ヲ置ク

第三條 主事ハ管理者ノ指揮ヲ承ケ教育ノ秩序ヲ保持シ庶務教務ヲ

掌理シ及生徒ノ取締ニ關スルコトヲ掌リ兼テ本所重要ノ件ニ參與

ス

第四條 庶務係教務係會計係ハ上官ノ命ヲ承ケ各其職務ニ従事ス

第五條 各係ニ屬スル分擔事務ノ要項左ノ如シ

庶務係

- 一本所々印ノ保管並ニ儀式ニ關スル事
二本所規則及管理者ノ命令傳達ニ關スル事
三職員ノ進退名簿及履歷書ニ關スル事
四職員ノ缺勤調査及其報告ニ關スル事
五職員ノ願届等ニ關スル事
六記録ノ編纂保存ニ關スル事
七一覽諸報告及統計表ニ關スル事
八文書ノ起案往復及接受發送ニ關スル事
九生徒ノ徴兵ニ關スル事
十生徒ノ賞罰ニ關スル事
十一生徒ノ學力品行等ノ證明ニ關スル事
十二卒業生ノ教員免許狀申請ニ關スル事

- 十三職員ノ宿直ニ關スル事
十四他ノ係ニ屬セサル一切ノ事項

教務係

- 一教課ノ配當及教室ノ整頓ニ關スル事
二試験成績表調製ニ關スル事
三生徒ノ入退學ニ關スル事
四生徒ノ名簿履歷書及在學證書ニ關スル事
五生徒ノ試験進級及卒業ニ關スル事
六生徒ノ身體検査ニ關スル事
七生徒ノ缺席調査及其報告ニ關スル事
八生徒ノ願届ニ關スル事
九教科用書ニ關スル事

十教員室及教室ノ物品保管ニ關スル事
十一此他教務ニ關スル一切ノ事項

會計係

- 一本係ニ屬スル文書ノ起案編纂及保存ニ關スル事
- 二金錢ノ出納ニ關スル事
- 三會計帳簿ノ整理ニ關スル事
- 四需要品ノ收支ニ關スル事
- 五圖書器械器具其他物品一切ノ調製及購入ニ關スル事
- 六小使及傭夫ニ關スル事
- 七此他會計ニ屬スル一切ノ事項

第五章 規則

學年學期及休業

第一條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ヲ分チ
テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日迄第二學期ハ
九月一日ヨリ十二月三十一日迄第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月
三十一日迄トス

第二條 休業日ハ左ノ如シ

- 一日 曜日
- 一 神武天皇祭 四月三日
- 一 春季休業 四月一日ヨリ
四月七日マテ
- 一 夏季休業 七月十一日ヨリ
九月十日マテ
- 一 秋季皇靈祭 秋分日
- 一 神嘗祭 十月十七日
- 一 第二高等學校開校紀念日 十月二十六日

- 一 天長節 十一月三日
- 一 新嘗祭 十一月二十三日
- 一 冬期休業 十二月二十五日ヨリ
翌年一月七日マテ
- 一 孝明天皇祭 一月三十日
- 一 紀元節 二月十一日
- 一 春季皇靈祭 春分日

在學及退學

第三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左式ノ在學證書ヲ十日以内ニ差出スヘシ

用紙ハ本所ヨリ交附スヘシ

在學證書

私儀今般入學御許可相成候ニ付テハ品行ヲ慎ムヘキハ勿論御規

則等堅ク相守リ猥リニ退學仕間敷候仍テ證書如斯候也

族籍

何

某印

宿所

第三臨時教員養成所管理者

第二高等學校長何 某殿

前書何某在學中其監督保護ノ責ニ任スルハ勿論在學中ニ係ル事
件ハ同人貴所ノ學籍ヲ脱シ候後タリトモ拙者ニ於テ一切引受可
申候仍テ保證如斯候也

族籍及職務若クハ職業

生徒ニ對スル關係

保證人

何

某印

生年月日

宿 所

前書保證人何某ハ丁年以上ノ男子ニシテ本市内ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日

仙臺市長 何

某印

(本所ニ於テ適當ト認メタル保證人ハ此奥書ヲ要セス)

第四條 保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ仙臺市内ニ於テ一家計ヲ立ツル者又ハ本所ニ於テ適當ナリト認メタル者ニ限ル

第五條 保證人宿所ヲ轉シ或ハ改印スル等ノ事アラハ其旨直チニ届出ツヘシ

第六條 保證人一時旅行セントスルトキハ相當ノ代理者ヲ立テ置クヘシ

第七條 保證人死去スルカ若クハ保證人タル資格ヲ失フカ或ハ旅行

三ヶ月以上ニ涉ルトキハ直チニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第八條 生徒疾病或ハ事故ニ依リ缺課スルトキハ其當日乃至翌々日中ニ其事由ヲ詳記シ保證人ヨリ其旨届出ツヘシ

但シ二日以上缺課セントスルトキハ其日限ヲモ記スヘク又疾病ニ依リ七日以上缺課セントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
第九條 生徒ハ自己ノ便宜ニ依リ退學スルコトヲ得ス

但シ疾病又ハ己ヲ得サル事故ニ因リ退學セント欲スル者ハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上願出ツヘシ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フルモノトス

第十條 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者及性行不良ナル者ハ退學ヲ命ス

第十一條 生徒ノ入退學ニ關シテハ時宜ニ因リ臨機ノ處分ヲナスコトアルヘシ

學科課程及修業年限

第十二條 本所ノ學科目ハ修身教育數學英語物理體操トス

第十三條 本所學科ノ各學年ニ於ケル每週教授時數ハ左表ノ如シ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
教育	二	二	二
數學	一七	一七	二〇
英語	四	四	四
物理	三 實驗一回	三	三 實驗一回
體操	三	三	三

計

三〇

三〇

三〇

備考實驗ハ一回凡二時間トス

第十四條 本所ノ修業年限ハ三ク年トス

試業進級及卒業證書

第十五條 試業ヲ分チテ學年試業學期試業ノ二種トス

第十六條 學期試業ハ各學期間ニ於テ其學期間ニ履修シタル諸課目ニ就キ之ヲ施行ス

第十七條 學年試業ハ學年ノ終ニ於テ其學年中ニ履修シタル總テノ課目ニ就キ之ヲ施行ス

但學年ノ中途ニ授業ヲ完了シタル課目ハ其之ヲ完了シタル時ニ於テ試業ヲ施行スルコトアルヘシ

第十八條 或學科ニ就テハ管理者ノ見込ニ依リ試業ヲ施行セサルコ

トアルヘシ

第十九條 一課目ノ學期評點ハ學期試業點數及日課點等ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第二十條 學期評點學年試業評點及學年評點ハ一課目各一百點ヲ以テ最高點トス

第二十一條 一課目ノ學年評點ハ該科目ノ學期評點ノ平均ヲ二倍シ學年試業評點數ヲ加ヘ三ヲ以テ除シテ之ヲ定ム

第二十二條 學期ノ諸課目評點平均數ハ各課目ノ學期評點數ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ定ムルモノトス

第二十三條 學年ノ諸課目評點平均數モ前條ノ如ク各課目ノ學年評點數ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ定ムルモノトス

第二十四條 學年評點ニ於テ各課目六十點以上ヲ得タル者ヲ及第トス

ス

但平素ノ勤惰行狀等ヲモ參考スルモノトス

第二十五條 學期又ハ學年試業ニ缺席シタル者ニハ零點ヲ附ス

但缺席ノ理由正當ナリト認めタルモノハ追試業ヲ許スコトアルヘシ

第二十六條 本所規程ノ各學科ヲ修了シ試業ヲ完ウシタル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

本所印

族籍

何

某

年月日生

右ハ本所數學科ノ課程ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ

仍テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

第三臨時教員養成所管理者

第二高等學校長位勳學位爵姓 名印

番號

第二十七條 本所卒業者ニハ師範學校中學校高等女學校數學科教員
免許狀ヲ授與セラルヘシ

服制

第二十八條 本所生徒ノ服制左ノ如シ

一制帽 佛蘭西形 色黒 地質絨

白色三線ヲ付ス

帽ノ前徽章ハ竹葉ヲ以テ金色ノ教ノ字ヲ抱合セシメタルモノ

一制服 脊廣形 色黒又ハ紺 地質絨又ハヘル地

一外套 同上

一釦 煉モノ色黒

一夏服ハ色黒又ハ紺 地質薄絨又ハセル地

一夏帽ハ冬帽ニ白キヤラコ地ニテ日覆ヲ着クヘシ

第二十九條 本所生徒ハ入學許可ヲ得タル後十日間ニ制帽ヲ三十日
間ニ制服ヲ着用スヘシ

第三十條 本所生徒ニ示達スヘキ事項ハ揭示場ニ示ス

第六章 職員

(明治四十四年十月三十一日調)

管理者

第二高等學校長 正五位勳六等 三好愛吉 新潟縣平湯民

主事

教授 波木井九十郎 東京府

教授

從五位勳五等 波木井九十郎 東京府

數學
修身、教育

三好愛吉 新潟縣

講師

物理 第二高等學校教授 從五位勳六等 川北清 三重縣

數學 第二高等學校教授 從五位 高野由哉 宮城縣

英語 第二高等學校教授 正七位 高田貞彌 新潟縣

囑託教員

體操 豫備陸軍步兵中尉正八位勳六等功五級 大嶋德太郎 福島縣

柔道 第二高等學校囑託教員 久我均光 北海道

書記

庶務、教務、會計 高橋孝哉 宮城縣

會計(兼) 第二高等學校書記 從七位勳八等 瀧井友規 東京府

會計(兼) 第二高等學校書記 玉蟲六三郎 宮城縣

教務(兼) 第二高等學校書記 松坂酉七郎 宮城縣

雇

會計(兼) 第二高等學校雇勳八等 宮本敬治 宮城縣

物理助手 第二高等學校雇 大松澤貫一 宮城縣

第七章 生徒

第一學年 (三十名)

出身學校

愛知縣私立明倫中學校 松本健三郎 愛知縣

(明治四十四年十月三十一日現在調)

新潟縣立村上中學校
 岐阜縣立岐阜中學校
 埼玉縣立川越中學校
 兵庫縣立姫路中學校
 石川縣師範學校
 靜岡縣師範學校
 靜岡縣師範學校
 東京私立物理學校
 廣嶋縣立福山中學校
 鳥取縣立鳥取中學校
 巖手縣立一ノ關中學校
 福嶋縣立安積中學校

遠藤	阿部	五藤	池田	兼子	富田	數原	原	岡田	岡田	飯尾	村部
正德	政次郎	慶夫	大次郎	清七	一夫	賢	證三	良知	博	好雄	清吉
平福島	平岩手	土鳥取	平廣島	平靜岡	平靜岡	平靜岡	士石川	士兵庫	士埼玉	平岐阜	士新潟
民縣	民縣	族縣	民縣	民縣	民縣	民縣	族縣	族縣	族縣	民縣	族縣

愛知縣第一師範學校
 岐阜縣立岐阜中學校
 宮城縣立古川中學校
 栃木縣師範學校
 宮城縣私立東北中學校
 新潟縣立村上中學校
 福嶋縣師範學校
 宮城縣立古川中學校
 富山縣師範學校
 宮城縣私立曾洞宗第二中學校
 秋田縣師範學校
 奈良縣師範學校

中野	佐藤	渡會	白石	青田	山岡	本間	鈴木	柴山	木村	小森	吉田
藤吉	重朗	宗慧	兵次郎	麻治郎	清正	探	憲次郎	長四郎	教而	重三	金造
平奈良	平秋田	平山形	平富山	平宮城	士福島	士新潟	平宮城	平栃木	平宮城	平岐阜	平愛知
民縣	民縣	民縣	民縣	民縣	族縣	族縣	民縣	民縣	民縣	民縣	民縣

山形縣立山形中學校
 大分縣立宇佐中學校
 富山縣立富山中學校
 巖手縣師範學校
 宮城縣師範學校

第八章 卒業生

第三臨時教員養成所卒業生

(明治四十四年十月三十一日調)

明治三十七年 (第一回) (イロハ順) 二十八人

山梨縣立高等女學校教諭	飯塚清一郎	平茨城縣民
大分縣大分高等女學校兼女子師範學校教諭	犬塚三郎	山形縣民
病氣 靜 養 中	伊藤雄橘	山形縣民
鹿兒嶋縣立川内中學校教諭	伊藤東吉	北海道民

石山常吉	山形縣民
石丸保雄	大分縣民
太田勇次郎	富山縣民
中村丑治	岩手縣民
奈良坂孝吉	宮城縣民

宮城縣立築館中學校教諭	新野力	宮城縣民
岩手縣立一ノ關中學校教諭	陸軍歩兵少尉 星合	宮城縣民
神奈川縣立第四中學校教諭	東林清	平福井縣民
明治四十二年五月六日死去	香田三吾	士佐賀縣民
新潟縣立小千谷中學校教諭	鹿股長三郎	宮城縣民
宮城縣私立曹洞宗第二中學林教諭	加嶋儉吾	宮城縣民
岡山縣立津山中學校教諭	吉岡彥兵衛	宮城縣民
新潟縣立柏崎中學校教諭	吉田吉	宮城縣民
宮城縣私立東北學院教諭	陸軍砲兵少尉 醍醐	茨城縣民
千葉縣立千葉中學校教諭	高橋善四郎	宮城縣民
德島縣女子師範學校教諭兼德島縣師範學校教諭	辻鶴吉	滋賀縣民
宮城縣立古川中學校教諭	陸軍歩兵少尉 中澤康三郎	宮城縣民

第七師團步兵第二十六聯隊附 陸軍歩兵中尉 草野芳男 士宮城族

鹿兒嶋縣立川内中學校教諭 (奏任待遇) 矢部廣松 平福島民

山形縣立新莊中學校教諭 山本恭次郎 平宮城民

在清國漢口測量事業從事 山本勇吉 士福井族

明治三十七年七月十四日死去 安部元吉 士宮城族

北海道廳立函館商船學校教諭 淺野修三 平宮城民

病氣 齋藤融 平宮城民

新潟縣立村上中學校教諭 佐藤次郎 士新瀉族

明治三十九年十二月二十六日死去 佐野運壽 平宮城民

嶋根縣立濱田中學校教諭 佐々木德藏 平宮城民

栃木縣大田原中學校教諭 遠藤文二 士宮城族

青森縣立八戸中學校教諭 須藤敏夫 平青森民

明治三十九年 (第二回) (イロハ順) 二十九人

宮城縣立白石中學校教諭 馬場齊 士長崎族

愛知縣名古屋市立名古屋商業學校教諭 千葉鼎三 士宮城族

山梨縣立農林學校教諭 渡邊周吉 平福島民

明治四十一年八月十四日死去 渡邊善作 平福島民

明治四十年七月廿七日死去 甘南備義雄 士福島族

福嶋縣石川郡私立石川中學校教諭 柿沼久多 士福島族

神奈川縣立第三中學校教諭 吉田清一 士山形族

長崎縣立嶋原中學校教諭 武田慶一郎 平大阪府

朝鮮總督府中學校教諭 塚本卯平 平千葉民

香川縣立高松高等女學校教諭 中村四郎太 士香川族

鹿兒嶋縣立川邊中學校教諭 長房丈作 平大分民

東北帝國大學理科大學在學 南部 環
 愛媛縣立松山中學校教諭 (舊田又二) 牛島 真夫 福井 士
 石川縣立小松中學校教諭 井上 武十郎 群馬 士
 靜岡縣榛原郡立榛原中學校教諭 大井 全平 靜岡 士
 福井縣武生中學校教諭 松田 善吉 德島 士
 巖手縣立福岡中學校教諭 松本 寬吉 大分 士
 明治四十二年五月九日死去 松本 文庄 高知 士
 東京帝國大學工科大学在學 深井 宗吉 兵庫 士
 廣島縣西條農學校教諭 福島 達郎 廣島 士
 大坂府立清水谷高等女學校教諭 小池 與三郎 兵庫 士
 明治四十二年十二月廿二日死去 後藤 章八郎 岩手 士
 長崎縣私立東山學院教諭 (舊門馬留助) 阿部 從二 福岡 士

京都府立第二中學校教諭 齋藤 治七 福島 士
 大分縣立中津中學校教諭 瀨下 靜造 鹿兒島 士
 宮城縣私立東北學院教諭 志賀 勝之助 福島 士
 大坂府立女子師範學校教諭 嶋谷 初太郎 廣島 士
 明治四十年七月二十八日死去 白井 彌三郎 愛知 士
 群馬縣立高崎中學校教諭 白井 朝治 栃木 士
 明治四十一年 (第三回) (イロハ順) 二十三人
 巖手縣師範學校教諭 橋野 純也 岩手 士
 東京市私立麻布中學校教諭 (舊姓) 仁科 重男 千葉 士
 新潟縣新潟師範學校教諭 土居 音三郎 高知 士
 山梨縣立都留中學校教諭 鴫田 忠雄 秋田 士
 愛知縣立第五中學校教諭 土肥 重太郎 富山 士

奈良縣立農林學校教諭	東北帝國大學理科大學在學	大分縣立杵築中學校教諭	栃木縣立佐野中學校教諭	和歌山縣立粉河中學校教諭	栃木縣立宇都宮中學校教諭	福島縣立會津高等女學校教諭	鹿兒嶋縣立第二鹿兒嶋中學校教諭	大坂府立池田師範學校教諭	新潟縣立長岡中學校教諭	廣嶋縣立忠海中學校教諭	
(舊姓加古)友田	片山壯一	加納信行	橫田安次	成嶋知則	宇賀持保親	大越勝治	大須賀炳	奧山純一	山上六郎	山田堅三郎	藤川行一
兵庫縣	宮城縣	鳥取縣	高知縣	千葉縣	栃木縣	福島縣	宮城縣	愛媛縣	大阪府	新潟縣	廣嶋縣

山形縣立米澤中學校教諭	山形縣立師範學校教諭	福岡縣立小倉中學校教諭	新潟縣立高田師範學校教諭	奈良縣立畝傍中學校教諭	秋田縣立秋田中學校教諭
江川平次郎	深山平治	宮崎右司	篠原喜代藏	清水秀一	菅原清治
滋賀縣	千葉縣	福岡縣	山形縣	山口縣	山形縣

明治四十四年 (第四回) (イロハ順) 二十六人

秋田縣立橫手中學校教諭	青森縣立師範學校教諭	香川縣立丸龜中學校教諭	東京府立第三中學校教諭	熊本縣立師範學校教諭
長安次	岡村寅吉	小笠原喜代太	岡崎文六	瓦井宗一郎
山形縣	千葉縣	香川縣	宮城縣	栃木縣

福井市立福井商業學校教諭
 秋田縣立本莊中學校教諭
 長崎縣立嶋原中學校教諭
 德嶋縣師範學校教諭
 宮城縣立仙臺第二中學校教諭
 鹿兒嶋縣立川邊中學校教諭
 宮城縣師範學校教諭
 新潟縣立三條中學校教諭
 北海道廳立上川中學校教諭
 靜岡縣志太郡立農學校教諭
 福嶋縣立福嶋中學校教諭
 北海道私立北海中學校教諭

川合 丕一
 金關 正則
 吉原 由松
 吉成 英雄
 武田 恒司
 中村 儀平
 長嶺 力
 中嶋 宗治
 大野 新六
 熊谷 賢一郎
 矢島 辰五郎
 正木 寬治
 愛知縣
 香川縣
 平賀縣
 佐賀縣
 平賀縣
 德島縣
 宮城縣
 千葉縣
 平賀縣
 福島縣
 平賀縣
 靜岡縣
 士岡縣
 東京府
 平賀縣
 宮城縣
 平賀縣

香川縣立商業學校教諭
 山梨縣師範學校教諭
 宮城縣私立東北中學校教諭
 秋田縣立大館中學校教諭
 新潟縣立柏崎中學校教諭
 靜岡縣立掛川中學校教諭
 岡山縣私立興讓館中學校教諭
 埼玉縣立浦和中學校教諭
 東北帝國大學理科大學在學

藤枝 哲
 寺西 榮吉
 相田 肇
 峰島 尙
 宮下 要治郎
 神藤 範二
 平田 吉次郎
 關山 勉
 鈴木 敏一
 島野族
 富山縣
 宮城縣
 千葉縣
 千葉縣
 長野縣
 愛知縣
 平賀縣
 岡山縣
 埼玉縣
 埼玉縣
 兵庫縣
 平賀縣

明治四十四年十一月一日印刷
明治四十四年十一月二日發行

第三臨時教員養成所

印刷者 佐藤源太郎

仙臺市表小路一番地

印刷所 宮城活版社

仙臺市表小路一番地

268
523

Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is arranged in several columns and is significantly faded and illegible. A faint rectangular border is visible around the text area.

終